

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】共通

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	国際自然環境アウトドア専門学校
設置者名	学校法人国際総合学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養専門	野外教育アウトドアスポーツ学科	夜・通信	2424時間	240時間	
	自然ガイド・環境保全学科	夜・通信	2418時間	240時間	
	山岳プロ学科	夜・通信	2114時間	240時間	
	クライミングインストラクター学科	夜・通信	2306時間	240時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

- 野外教育アウトドアスポーツ学科
https://www.i-nac.ac.jp/common/pdf/disclosure/yagai_r2.pdf
- 自然ガイド・環境保全学科
https://www.i-nac.ac.jp/common/pdf/disclosure/shizen_r2.pdf
- 山岳プロ学科
https://www.i-nac.ac.jp/common/pdf/disclosure/sangaku_r2.pdf
- クライミングインストラクター学科
https://www.i-nac.ac.jp/common/pdf/disclosure/crimming_r2.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	国際自然環境アウトドア専門学校
設置者名	学校法人国際総合学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.i-nac.ac.jp/common/pdf/disclosure/rijimeibo_r2.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	団体職員	2019年6月1日～2023年5月31日	政策的観点
非常勤	会社役員	2019年6月1日～2023年5月31日	教育統括的観点
非常勤	大学教授	2019年6月1日～2023年5月31日	教育総括的観点
非常勤	団体職員	2020年3月31日～2023年5月31日	政策的観点
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名(学部等名)	国際自然環境アウトドア専門学校
設置者名	学校法人国際総合学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>学科毎に設けている教育目標・人材育成像に則り、学生が体系的かつ主体的に学習できるようにカリキュラムを編成し、これに従い教育を実施する。</p> <p>作成計画</p> <p>2月：教務部会議 カリキュラム決定、シラバス案策定</p> <p>3月：授業概要説明、シラバス確定</p> <p>4月：シラバス公表(ホームページへ掲載)</p> <p>公開については、ホームページにて公開を行っている。</p>	
<p>授業計画の公表方法</p>	<p>野外教育・アウトドアスポーツ学科 https://www.inac.ac.jp/common/pdf/disclosure/syllabus_yagai_r3.pdf</p> <p>自然ガイド・環境保全学科 https://www.inac.ac.jp/common/pdf/disclosure/syllabus_shizen_r3.pdf</p> <p>山岳プロ学科 https://www.inac.ac.jp/common/pdf/disclosure/syllabus_sangaku_r3.pdf</p> <p>クライミングインストラクター学科 https://www.inac.ac.jp/common/pdf/disclosure/syllabus_crimming_r3.pdf</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 成績評価は各科目毎の授業終了時に評価を行う。 2) 成績評価は、その年度の試験の成績並びに出席率、普段の授業態度、確認テスト、課題提出、検定取得状況、大会成績等の資料によって決定する。 3) 出席率が80%未満の場合、原則として評価は行わない。(D不可となる) 4) 実習系の科目評価は、提出課題や出席率で60点以上を合格とする。 実習系の科目でも筆記試験を課すことがある。 5) 講義系の科目は、筆記試験を行い、100点満点中60点以上を合格とする。 6) 評価形式 成績評価はA、B、C、Dの4段階およびPとする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ A (優) 80点以上 ・ B (良) 70点以上 ・ C (可) 60点以上70点未満 ・ D (不可) 60点未満 ・ P (認定) 	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学生の成績状況を把握できるよう、各科目評価を100点満点で点数化し、合計点を科目数で割った平均点を指標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 算出された指標は、成績分布状況の把握に使用する。 ・ 成績分布は、成績評価をもとに作成する。 ・ 成績分布の下位の学生に対し、指導を行う場合がある。 	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.inac.ac.jp/common/pdf/disclosure/seiseki_shihyo.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

当校では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の要出席時間数を受講した学生に対して卒業を認定する。年度末の判定会議において審査し決定する。

ディプロマポリシー

- 1、学校で学んだ専門知識・技術及び社会人基礎力を備えていること。
- 2、志と感謝心を持ち、自然に係る業界での活躍・社会に貢献しようという熱意を持っていること。
- 3、多様性を受け入れるマインドを持ち、グローバル社会でのコミュニケーション能力を持っていること。

卒業条件基準

- ・ 全年次の要出席時間数の80%以上出席していること。なお、要出席時間数には学校行事も含まれる。
- ・ 全年次に開講された科目において、全てC以上、またはPの科目評価を受けていること。
- ・ 授業料等の必要な費用が納入済であること。
- ・ 海外研修旅行に参加していること

以上を卒業判定会議において審査し、卒業・留年を決定する。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<https://www.i-nac.ac.jp/common/pdf/disclosure/sotsugyo.pdf>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	国際自然環境アウトドア専門学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.inac.ac.jp/common/pdf/disclosure/taisyaku_r2.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.inac.ac.jp/common/pdf/disclosure/syushi_r2.pdf
財産目録	https://www.inac.ac.jp/common/pdf/disclosure/zaisan_r2.pdf
事業報告書	https://www.inac.ac.jp/common/pdf/disclosure/jigyohoukoku_r2.pdf
監事による監査報告(書)	https://www.inac.ac.jp/common/pdf/disclosure/kansa_r2.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門	野外教育アウトドアスポーツ学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2792 時間 単位時間/単位	272 時間	1190 時間	1138 時間	0 時間	192 時間
			2792 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
35人		13人	0人	4人	44人	48人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）学科毎に設けている教育目標・人材育成像に則り、学生が体系的かつ主体的に学習できるようカリキュラムを編成し、これに従い教育を実施する。 2月：教務部会議 カリキュラム決定、シラバス案策定 3月：授業概要説明、シラバス確定 4月：シラバス公表（ホームページへ掲載） 公開については、ホームページにて公開を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要）成績評価はA、B、C、Dの4段階、及びPとする。 ・A（優）80点以上・B（良）70点以上 ・C（可）60点以上70点未満・D（不可）60点未満・P（認定）

卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>進級条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年次又は2年次の要出席時間数の80%以上出席していること。 なお、要出席時間数には学校行事も含まれる。 ・ 1年次又は2年次に開講された科目において、全てC以上、またはPの科目評価を受けていること。 ・ 授業料、実習費等の必要な費用が納入済であること。 ・ その他、生活行為等において問題がないこと。 <p>以上を進級判定会議において審査し、進級・留年を決定する。</p> <p>卒業条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全年次の要出席時間数の80%以上出席していること。なお、要出席時間数には学校行事も含まれる。 ・ 全年次に開講された科目において、全てC以上、またはPの科目評価を受けていること。 ・ 授業料等の必要な費用が納入済であること。 ・ 海外研修旅行に参加していること <p>以上を卒業判定会議において審査し、卒業・留年を決定する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要) 担任制度、就職サポート制度があり学校生活から就職活動まで幅広く支援体制を設けている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
3人 (100%)	0人 (0%)	2人 (66.7%)	1人 (33.3%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>岡山県新庄村地域おこし協力隊 (株) BUB</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>学生個々の適正を把握し個別指導を実施している。インターンシップ制度があり現場体験から就職へと結びつける。求人情報も学生に向けて紹介している。</p>			
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>日本山岳ガイド協会認定 自然ガイドステージⅡ 日本キャンプ協会 キャンプデレクター2級</p>			

(備考) (任意記載事項)
学科変更の為、変更前のアウトドアライフ学科を掲載

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
10人	1人	10.0%
(中途退学の主な理由) 進路変更の為		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任、教科担当による面談を随時実施し学生の生活状況の把握を行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門	自然ガイド環境保全学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2766 時間 単位時間/単位	420 時間	1208 時間	1010 時間	0 時間	128 時間
			2766 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
25人	14人	0人	4人	38人	42人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）学科毎に設けている教育目標・人材育成像に則り、学生が体系的かつ主体的に学習できるようカリキュラムを編成し、これに従い教育を実施する。</p> <p>2月：教務部会議 カリキュラム決定、シラバス案策定</p> <p>3月：授業概要説明、シラバス確定</p> <p>4月：シラバス公表（ホームページへ掲載）</p> <p>公開については、ホームページにて公開を行っている。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）成績評価はA、B、C、Dの4段階及びPとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A（優）80点以上・B（良）70点以上 ・C（可）60点以上70点未満・D（不可）60点未満・P（認定）
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>進級条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年次又は2年次の要出席時間数の80%以上出席していること。 なお、要出席時間数には学校行事も含まれる。 ・1年次又は2年次に開講された科目において、全てC以上、またはPの科目評価を受けていること。 ・授業料、実習費等の必要な費用が納入済であること。 ・その他、生活行為等において問題がないこと。 <p> 以上を進級判定会議において審査し、進級・留年を決定する。</p> <p>卒業条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全年次の要出席時間数の80%以上出席していること。なお、要出席時間数には学校行事も含まれる。 ・全年次に開講された科目において、全てC以上、またはPの科目評価を受けていること。 ・授業料等の必要な費用が納入済であること。 ・海外研修旅行に参加していること <p> 以上を卒業判定会議において審査し、卒業・留年を決定する。</p>

学修支援等
(概要) 担任制度、就職サポート制度があり学校生活から就職活動まで幅広く支援体制を設けている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
3人 (100%)	0人 (0%)	3人 (100%)	0人 (0%)

(主な就職、業界等) (株) CTI アウラ (株) 当間高原リゾートホテル

(就職指導内容)

学生個々の適正を把握し個別指導を実施している。インターンシップ制度があり現場体験から就職へと結びつける。求人情報も学生に向けて紹介している。

(主な学修成果 (資格・検定等))

日本山岳ガイド協会認定 自然ガイドステージII

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14人	0人	0%

(中途退学の主な理由)

(中退防止・中退者支援のための取組)

クラス担任、教科担当による面談を随時実施し学生の生活状況の把握を行っている。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門	山岳プロ学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2746 時間 単位時間/単位	448 時間	992 時間	1178 時間	0時間	128 時間
	夜		2746 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50人		21人	0人	4人	118人	122人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）学科毎に設けている教育目標・人材育成像に則り、学生が体系的かつ主体的に学習できるようカリキュラムを編成し、これに従い教育を実施する。</p> <p>2月：教務部会議 カリキュラム決定、シラバス案策定</p> <p>3月：授業概要説明、シラバス確定</p> <p>4月：シラバス公表（ホームページへ掲載）</p> <p>公開については、ホームページにて公開を行っている。</p>
成績評価の基準・方法 h
<p>（概要）成績評価は A、B、C、D の 4 段階、及び P とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A（優）80 点以上・B（良）70 点以上 ・ C（可）60 点以上 70 点未満・D（不可）60 点未満・P（認定）
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>進級条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 年次又は 2 年次の要出席時間数の 80%以上出席していること。 なお、要出席時間数には学校行事も含まれる。 ・ 1 年次又は 2 年次に開講された科目において、全て C 以上、または P の科目評価を受けていること。 ・ 授業料、実習費等の必要な費用が納入済であること。 ・ その他、生活行為等において問題がないこと。 <p> 以上を進級判定会議において審査し、進級・留年を決定する。</p> <p>卒業条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全年次の要出席時間数の 80%以上出席していること。なお、要出席時間数には学校行事も含まれる。 ・ 全年次に開講された科目において、全て C 以上、または P の科目評価を受けていること。 ・ 授業料等の必要な費用が納入済であること。 ・ 海外研修旅行に参加していること <p> 以上を卒業判定会議において審査し、卒業・留年を決定する。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>担任制度、就職サポート制度があり学校生活から就職活動まで幅広く支援体制を設けている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14人 (100%)	0人 (0%)	11人 (78.6%)	3人 (21.4%)
(主な就職、業界等) (株) ニューハレックス (一社) 妙高ツーリズムマネジメント (株) オフィス・イヌイ (株) パール金属 WEST 事業部 (株) ゴールドウィン (株) 山旅人 (株) BEACH TOWN (株) カゴハラゴルフ深谷スポーツカレッジ グリーンアロー (株)			
(就職指導内容) 該当学生、担任、就職担当 就職情報の提供、面談の実施			
(主な学修成果(資格・検定等)) 日本山岳ガイド協会認定 登山ガイドステージⅡ			
(備考) (任意記載事項)			
中途退学の現状			
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率	
31人	0人	0%	
(中途退学の主な理由)			
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任、教科担当による面談を随時実施し学生の生活状況の把握を行っている。			

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門	クライミングインストラクター 学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2754 時間 単位時間/単位	264 時間	528 時間	778 時間	0 時間	1184 時間
			2754 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
25 人		6 人	0 人	4 人	55 人	59 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）学科毎に設けている教育目標・人材育成像に則り、学生が体系的かつ主体的に学習できるようカリキュラムを編成し、これに従い教育を実施する。</p> <p>2月：教務部会議 カリキュラム決定、シラバス案策定</p> <p>3月：授業概要説明、シラバス確定</p> <p>4月：シラバス公表（ホームページへ掲載）</p> <p>公開については、ホームページにて公開を行っている。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）成績評価は A、B、C、D の 4 段階、及び P とする。</p> <p>・ A（優）80 点以上・B（良）70 点以上</p> <p>・ C（可）60 点以上 70 点未満・D（不可）60 点未満・P（認定）</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>進級条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 年次又は 2 年次の要出席時間数の 80% 以上出席していること。 ・ なお、要出席時間数には学校行事も含まれる。 ・ 1 年次又は 2 年次に開講された科目において、全て C 以上、または P の科目評価を受けていること。 ・ 授業料、実習費等の必要な費用が納入済であること。 ・ その他、生活行為等において問題がないこと。 <p>以上を進級判定会議において審査し、進級・留年を決定する。</p> <p>卒業条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全年次の要出席時間数の 80% 以上出席していること。なお、要出席時間数には学校行事も含まれる。 ・ 全年次に開講された科目において、全て C 以上、または P の科目評価を受けていること。 ・ 授業料等の必要な費用が納入済であること。 ・ 海外研修旅行に参加していること <p>以上を卒業判定会議において審査し、卒業・留年を決定する。</p>

学修支援等 (概要) 担任制度、就職サポート制度があり学校生活から就職活動まで幅広く支援体制を設けている。
--

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 該当学生、担任、就職担当 就職情報の提供、面談の実施			
(主な学修成果 (資格・検定等)) C級ルートセッター			
(備考) (任意記載事項) 平成30年度新設学科であるため卒業生の実績はない			
中途退学の現状			
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率	
5人	0人	0%	
(中途退学の主な理由) 進路変更の為			
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任、教科担当による面談を随時実施し学生の生活状況の把握を行っている。			

②学校単位の情報 共通

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
野外教育アウトドア スポーツ学科	70,000 円	740,000 円	1,380,000 円	施設設備費・施設維持費・寮費 教材購入費など
自然ガイド・ 環境保全学科	70,000 円	740,000 円	1,400,000 円	施設設備費・施設維持費・寮費 教材購入費など
山岳プロ学科	70,000 円	740,000 円	1,380,000 円	施設設備費・施設維持費・寮費 教材購入費など
クライミングインス トラクター学科	70,000 円	740,000 円	1,350,000 円	施設設備費・施設維持費・寮費 教材購入費など
修学支援 (任意記載事項)				
特待生制度、一人暮らし支援制度、奨学金制度				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.i-nac.ac.jp/disclosure.html		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) (目的) 学校自己評価報告書 10 の評価項目 (1. 教育理念・目標 2. 学校運営 3. 教育活動 4. 学修成果 5. 学生支援 6. 教育環境 7. 学生の受入れ募集 8. 財務 9. 法令等の遵守 10. 社会貢献・地域貢献) における現状、課題と改善策を報告し各学校関係者評価の委員の方々より意見を頂く。 (委員会の構成) 専門分野別の関係団体、卒業生等、当校と密接に関係する者のうちから学校長が必要認められた者で構成されている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
公益社団法人 日本山岳ガイド協会	令和1年11月1日～ 令和2年3月31日	企業等委員
(株)山と溪谷社	令和1年11月1日～ 令和2年3月31日	企業等委員
国立妙高青少年自然の家	令和1年11月1日～ 令和2年3月31日	企業等委員
地元自治会	令和1年11月1日～ 令和2年3月31日	自治会長
妙高市観光商工課	令和1年11月1日～ 令和2年3月31日	企業等委員
国際自然環境アウトドア専門学校 校友会会長	令和1年11月1日～ 令和2年3月31日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.i-nac.ac.jp/disclosure.html		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		



c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://www.i-nac.ac.jp/>